

口は健康のもと Vol.154

お孫さんがお口にけがをしたときの対応法

前回のコラムでご紹介したとおり、最近の子どもは運動能力の低下がみられます。お孫さんと遊んでいてお孫さんが転んでお口にけがをしてしまった。このような経験はございませんか？ 今回はお口のけがの対応方法についてご説明します。

まず、唇を切っけてしまい出血がみられる場合には、傷口の汚れを水道水で軽く洗い流した後に、清潔なタオルなどで圧迫することで血を止めることができます。

また、歯が折れたり、抜けてしまったりした場合には、冷たい牛乳の中に入れて状態でお近くの歯科医院に早急に行かれてください。決して水道水で洗ったりしないでください。水道水では歯の根の周りに存在する細胞にダメージを与えてしまいます。しかし、牛乳には歯の細胞にダメージを与えず、逆に保存する能力があります。完全に抜けてしまった歯でも牛乳につけていれば、抜けた場所に戻すことができる場合があります。さらに『受傷後は早急に行きましょう』と記載しましたが、1時間以内に歯科医院にいらしてくだされば良いので、落ちついて行動していただければと思います。

子どもは、いつ、けがをするか分かりません。備えあれば憂いなしです。



奥羽大学歯学部附属病院
矯正歯科 講師 川鍋 仁

